

「国道2号大野地区沿岸部防災対策検討協議会」について

●目的

今年の台風13号など相次ぐ大型台風の来襲により、広島国道事務所管内においても、越波・高潮等による沿岸部国道の一部崩壊や全面通行止め（廿日市市丸石～大竹市玖波間では過去3年連続）等の被害が発生しました。

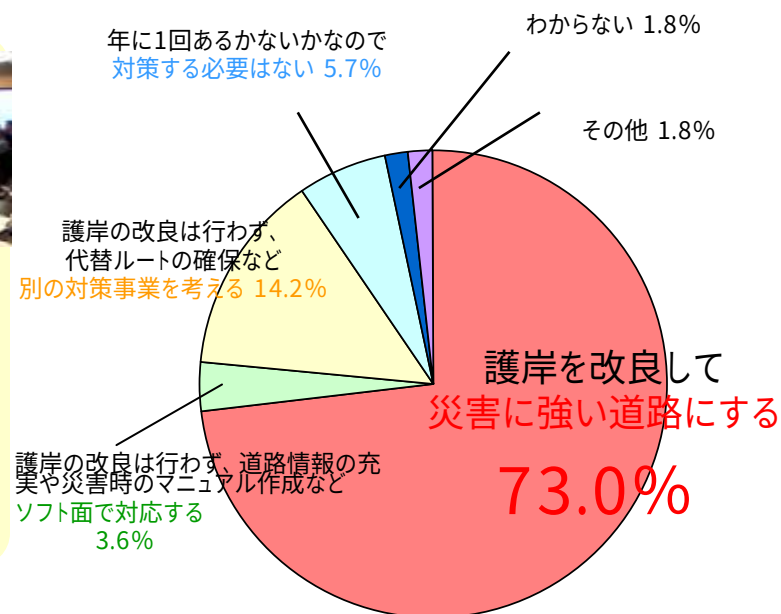
今後も同様な越波や高潮被害の発生が予想されることから、本協議会では関係自治体の道路・海岸管理者や学識経験者、さらには地域住民が一体となって、沿岸部における具体的な防災対策（越波対策）を検討し、地域の防災力を一層強化していくことを目的としています。

●第1回協議会（H18.10.4開催）の検討内容

1回目協議会においては護岸の対策工法の抽出や、整備水準等の提案を行いました

～以下越波対策における主な協議結果～

- 過去最大級の台風時の波浪を対象として検討を行う
 - 砂浜がない箇所は経済性の有利な前面消波ブロック式なども検討する
 - 貴重な砂浜を保全すべき、また海浜利用も十分考慮すること
 - 景観検討における留意点として海側や砂浜から見た視点も重要
- その他意見として
- 八坂山（はっさかやま）トンネル部の歩行者、自転車利用者の安全対策なども検討するべき



●第2回協議会検討内容

- ◇第1回協議会で抽出した道路護岸（前面消波ブロック式、斜積消波ブロック式、重力式擁壁、フレア式）についてのメリット・デメリットについての検討を行います。
 - ◇感性工学＜注＞参照を用い、地域の方々の景観に関する感じ方を分析し当該地域に受け入れられる景観整備のコンセプトについて検討します。
- 注）感性工学とは人間のもつ感性（イメージ）をものづくりに取り入れる方法です。 美しい、シンプルな、力強い、単調な etc・・・

■地域ニーズアンケート調査結果概要

- 調査期間：平成18年10月12日～20日
- 対象地域：廿日市市大野～大竹市玖波
- 世帯数： 約1,400戸 （うち352通回答）

過去の被災状況・通行止め履歴について

約2kmについて
越波対策の検討を行います

